

製品名: MOF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14023**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	KAT8
別名	KAT8; MOF; MYST1; PP7073; Histone acetyltransferase KAT8; Lysine acetyltransferase 8; MOZ; YBF2/SAS3, SAS2 and TIP60 protein 1; MYST-1; hMOF
遺伝子 ID	84148.0
SwissProt ID	Q9H7Z6
免疫原	抗血清はヒト MYST1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

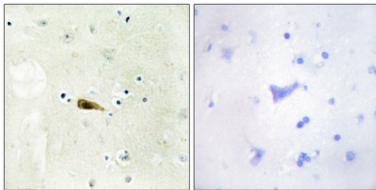
この遺伝子は、MYST ヒストンアセチラーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質は、アセチ

ル CoA 結合部位を含む特徴的な MYST ドメイン、ヒストンに結合するタンパク質に典型的なクロモドメイン、および C2HC 型ジンクフィンガーを有します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012 年 2 月]、触媒活性: アセチル CoA + ヒストン = CoA + アセチルヒストン。、機能: 転写活性化に関与する可能性のあるヒストンアセチルトランスフェラーゼ。 ATM の機能に影響を与える可能性がある。、類似性: MYST (SAS/MOZ) ファミリーに属する。、類似性: C2HC 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、類似性: クロモドメインを 1 つ含む。、サブユニット: MOF/MYST1、MSL1/hampin、MSL2L1、および MSL3L1 から少なくとも構成されるマルチサブユニットヒストンアセチルトランスフェラーゼ複合体 (MSL) の構成要素。 MORF4L1/MRG15 のクロモドメインと相互作用する。 クロモドメインを介して ATM と相互作用する。、

研究分野

-

画像データ



MYST1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。